

B—28 種々の素材繊維織布の W・W (ウォッシュ・
アンド・ウェア) 性について

山陽学園短大 ○江口 玲子
中国短大 江口トシコ

1. 天然繊維, 合成繊維の各素材が本来持っている固有の W・W がどの程度あるか, すなわち, その実力の

W・W 性を評価することは有意義なことと考え、W・W 性と関連する、あるいは W・W 性に求められる繊維の要求性能は何であろうかを各素材について広く検討し、2, 3 の考察を加えた。

2. 実験方法としては通常の方法により繊維、織布の性能検定、吸水率、しわ回復性、伸長弾性度、ヤング率及び W・W 性を測定しそれらの関係に着目して種々の考察を試みた。

3. W・W 性の発達した歴史を回顧し、W・W 性の必要条件、特性を考察し、最近市場に多く出回っている各素材繊維(天然繊維, 合成繊維)の織布の W・W 性とその素材繊維が本来持っている固有の吸水性、しわ回復性、伸長弾性度、ヤング率などとの相関性を調べた。これらの単繊維の性能は何れも多少の例外はあるが、密接に織布の W・W 性と関係があることを認めた。